

誕生前に

将来、赤ちゃんに読んであげようと思っている絵本が手元にあるなら、出産前から、おなかの赤ちゃんに読んであげてください。お母さん自身が絵本のおもしろさに気づき、癒されます。そして、お母さんが幸せな気持ちになると、おなかの赤ちゃんもきっと幸せです。

① おへそのあな

長谷川 義史／作 BL出版 1,540円



見える見える、お母さんのおへその穴からお兄ちゃんがお姉ちゃんが！聞こえる聞こえる、お父さんの歌が、みんなの声が…。みんなの願い「おいでおいで、生まれておいで！」の声を受けて、おへその穴から言いました。決して聞こえぬ小さな声で…。

② パパとママのたからもの

サム・マクブラットニイ／作 アニタ・ジェラーム／絵
小川 仁央／訳 評論社 1,650円



三匹のこぐまたちのパパとママは、寝る時にいつも「おやすみ、せかいでいちばんかわいいこぐまたち」と、いってくれます。でもこぐまたちは知りたくなりました。パパとママは、いったいどれがいちばんかわいいのだろうと。そこで…。

③ おかあさんがおかあさんになった日

長野 ヒデ子／作 童心社 1,430円



赤ちゃんが生まれた日は、お母さんがお母さんになった日。「あなたのおかげで、わたしはおかあさんになったのよ わたしのあかちゃんありがとう…。」赤ちゃんが生まれるまでの入院から出産までを描いた本。続編として、「おとうさんが…」と「おばあちゃんが…」もあります。

④ うまれてきてくれてありがとう

にしもと よう／文 黒井 健／絵
童心社 1,430円



おなかの中の赤ちゃんに「あなたは世界でたった一人のかけがえのない存在、ママを選んでくれてありがとう」とメッセージ！もちろん、生まれてから読んででも、かけがえのない命の誕生を親子で喜び合うことができます。

⑤ ちょっとだけ

瀧村 有子／作 鈴木 永子／絵
福音館書店 1,100円



「お姉ちゃん」としての毎日、ガマンの連続！ちょっとだけでもママに甘えたい…。でも、ちょっとだけできるようになったこともふえました。妹や弟ができる年の子どもたちにおうちの人と一緒に読んでほしい一冊です。

⑥ ラヴ・ユー・フォーエバー

ロバート・マンチ／作 乃木 리카／訳
梅田 俊作／絵 岩崎書店 1,430円



お母さんが赤ちゃんを抱いて歌います。「アイ・ラヴ・ユー いつまでも、どんなときも……」子どもが成長し大人になっても、子守歌を歌うお母さん。親子の絆をじんわりと感じる絵本です。